

【平成17年度専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業】

事業名	インタラクティブ通信を活用したフリーター・ニート層からの脱却型日本版デュアルシステムの開発		
学校法人名	学校法人 友幸学園		
学校名	専門学校 九州テクノカレッジ		
代表者	理事長 田所 徹夫	担当者・連絡先	石井 省爾 Tel : 093-561-3914

<事業の概要>

フリーター層が多いサービス業に従事する若年者に対しては、「ビジネスマインド」の定着化を日本版デュアルシステムにより実現し、同時にニート層に対してはモバイル端末を活用して携帯コンテンツを利用したインタラクティブ通信による双方向性対話を行うことにより「就業意識への動機付け」を図り、各層からの脱却を目指すものとする。開発にあたっては、ビジネスマインド育成に詳しい地元起業人と協力し、汎用性のあるプログラム研究・開発を行う。

実施内容

実施内容
まず3つの下部組織を持つ「実施委員会」を組織し、総合的な取りまとめを行うものとした。下記にその概要を示す。



3

■調査研究部会

日本版デュアルシステムに関してニーズ調査を行い、デュアルシステムを効果的・円滑に運用すべく、その後のシステム運用に反映させた。また、受講生の管理や受講者に対してアンケートを行い、OJTやOFF-JTへの運用に反映させた。

4

■教材研究・実証講座研究部会

OJT・OFF-JTでのビジネスマナー基礎知識に関する教材研究・開発を実施した。特にビジネスマナーについては、専門学校でのテキスト開発を活用し、即戦力となるべく人材に沿った科目内容とした。また、IT知識としては、ビジネス文書作成に必要なワードの基礎知識、表計算・グラフ作成に必要なエクセルの基礎知識、および情報収集に必要不可欠なインターネットの活用知識を習得するためのカリキュラムを作成した。

OJTでは、インターンシップによる就業意識を高めるため、ビジネスマインドの育成を念頭に置き、受講生の状況把握、カリキュラムを作成した。

以上の経過を経て、「ビジネスマインド養成カリキュラム」の開発を行った。

5

■携帯システム開発部会

「調査研究部会」から、最近注目を浴びているブログの形式サイト構築を行い、リピーターを増やす方向での情報更新を行った。また、実証講座への参加を促すため、講座内容の掲載を行い、本校への連絡を行えるようにした。

6

< 成 果 >

- ・ 「日本版デュアルシステムアンケート」により、企業の日本版デュアルシステムに対する意識・実態調査を行うことが出来た。
- ・ 上記の調査結果を踏まえ、「ビジネスマインド養成講座カリキュラム」開発の資料として活用し、教材開発部会を中心として「ビジネスマインド養成カリキュラム」テキストを完成させることが出来た。
- ・ 「ビジネスマインド養成カリキュラム」作成と同時に、カリキュラムを教える講師用の指導要領を完成させることが出来た。これにより、講師のレベルを一定水準に保つことができるものと考えられる。
- ・ 受講生や企業へのインタビューの内容から、さらに求められているニーズをつかむことができ、今後の活動の参考となった。

今 後 の 展 開

- 本事業で得た「ビジネスマインド養成講座カリキュラム」およびテキストの普及を図る。
- フリーター・ニートに対するキャリアカウンセリングに関する講座の実施を図る。
- 中小企業向けに、「日本版デュアルシステム」の普及と啓蒙活動を行う。
- 平成18年度より本校において、「日本版デュアルシステム」を環境ビジネス科デュアルワーキングコースにて実施する。